

第59回 大津市入札監視委員会（令和5年度 第1回） 会議録（要旨）

- 1 開催日時 令和5年7月24日（月） 10:00～12:00
- 2 開催場所 大津市役所 第二別館 Web会議室
- 3 出席者 委員 5名
(松山委員長、小島副委員長、石井委員、山本委員、松山委員)
事務局 6名
(契約検査課：栗田課長、服部補佐、戸川補佐、
澤井係長、平田主任、井上主事)

4 内 容

1) 開会

事務局及び委員長挨拶

2) 議事

(1) 令和4年度建設工事等の発注状況について

【事務局説明】

【質疑】

○委員 経審点の計算について、完成工事高は官民間問わず実績は算定されるものなのか。

○事務局 官民間問わず実績として算定される。

(2) 入札及び契約手続きの運用状況等について

① 入札方式別発注工事総括表について

② 入札方式別発注工事一覧表について

【委員長からの発言】

これまでの入札監視委員会で議論のあった、競争性をより確保するための施策を検討されたい。また、入札参加業者数が増えるような施策を進めることが必要である。

③ 事案の抽出結果について

【当番委員抽出理由について説明】

④ 抽出事案説明書について

抽出事案1「唐崎中学校長寿命化改良等電気設備工事」について

【事務局説明】

【質疑】

○委員 本事案を含む議会案件の電気設備工事3件ともに㈱ケイテックが全て落札している。何か有利になるものがあったのか。

○事務局 ㈱ケイテックにのみ有利に働くものがあるかはわからないが、この規模の工事であれば特定建設業の許可が必要であり、長期間にわたり技術者が拘束されるため、大津市内では規模が大きく技術者の人数が多い㈱ケイテックが結果として落札したのではないかと考えられる。ただ、他案件の電気設備工事の中には「無効」となってしまったが㈱ケイテックよりも安価な業者もあった。なお、規模の大きな3件の電気設備工事に共通するものとして、半導体や樹脂、金属などの資材価格等の高騰が見受けられるため、予定価格を超過することが多く、中には不落随契に至るケースもあった。

○委員 令和4年度を初年度として毎年2校ずつ長寿命化工事を実施するということは今年度も2校の工事があるのか。

○事務局 そのとおりである。これから募集を行う予定であるが、滋賀県電業協会との協議の中で課題を確認した。大きく2つあり1つ目は発注時期が重なったこと、2つ目は設計された内容を読み解くのに時間がかかることであった。今回は入札日をずらし、積算に係る日数を増やすことで改善する予定である。

○委員 市外業者は入ってこないのか。

○事務局 昨年度に本案件とは別の学校施設の長寿命化改良等電気設備工事を市外業者も応札があった一般競争入札を実施したが、結果は不落随契であったため市外業者が入ったからといって価格が安くなるものではないのではないかと考える。

- 委員 「競争入札」というイメージでは業者は最低制限価格を狙って応札するというものだと考えていたが予定価格を狙って応札されているのか。
- 事務局 なかなか価格を下げるのが難しいためその価格を入れているような印象である。
- 委員 競争入札とは10社程度は必要なのではないか。もう少し参加者を増やすことを念頭に入れて改善してほしい。
- 事務局 受注希望型指名競争入札の大規模工事発注基準は今までは適用したことがなく、この基準が業者に浸透していないのではないかと危惧している。今年度は「大規模工事発注基準」を明記し業者の方にしっかり案内ができるよう対応したい。また今年度からは一部の業種において発注基準のランクを廃止し業者数を増やす取り組みを実施している。

抽出事案2「晴嵐小学校長寿命化等機械設備工事」について

【事務局説明】

【質疑】

- 委員 開札時に「無効」となった業者がいるが理由はなにか。
- 事務局 見積内訳書の端数処理が本来は千円未満の端数処理のみ有効となるがその端数処理が千円を大きく超える端数処理がなされていた。なお見積内訳書については1回目の入札時に入札書と合わせて徴取しており2回目以降の入札には提出不要である。また、見積内訳書の作成については注意事項を記載し注意喚起している。
- 委員 大津市では毎回給排水冷暖房工事の落札率が高いことを注視しているが他市においては同種工事において最低制限価格に近い落札額で且つ辞退や欠席が見受けられない。大津市はこのことを問題視しないといけない。
- 事務局 他市の状況までは確認できていなかった部分はある。技術者の人数が違うというところもあり一概に比較はできないが今後も状況を注視したいと考える。
- 委員 開札結果が「欠席」というのはどういうものなのか。
- 事務局 「辞退届」の提出がなく、入札書も未受領の状況のことである。前回の入

札監視委員会の内容を踏まえ、電子入札システムの変更はできないが紙での辞退届には辞退理由を選択形式として記載いただけるように追記して掲載している。

- 委員 業者区分の中にガス、給水、排水の3つの指定工事店という区分があるが全て揃っている業者でないと参加できないのか。
- 事務局 その通りである。さらに特定建設業であることを条件に加えて絞った結果、市内業者のみとなった。
- 委員 指定工事店の取得は難しいのか。
- 事務局 難しいかどうかはわからないが、本事案の対象業者のランクよりも低いランクの業者もあり、年間で2回登録ができる。
- 委員 市外業者にも指定工事店のアナウンスをしてほしい。

抽出事案3「唐崎中学校長寿命化改良等工事」について

【事務局説明】

【質疑】

- 委員 業者と市の積算の認識が違うところがあるかどうか把握しているか。
- 事務局 「普通教室棟」のみ業者間の乖離が大きかった。中身をみると、積算項目が抜けている業者が3社程度あった。また、価格の安い部材を選んで狙って応札したかもしれない業者もいた。落札した業者は最終的に共通仮設費が他社よりも低く設計金額に近づき落札できたような印象であった。
- 委員 失格者が多いため、積算する業者に対する配慮が必要なのではないか。この結果を踏まえ、可能な限り配慮してほしい。
- 事務局 この案件も含めて積算期間を充分に取るよう取り組む。
- 委員 本案件は滋賀県内に営業所がある業者が対象であるのか。
- 事務局 所在区分は近畿府県に営業所がある業者を対象としており市外業者からの応札があつたが、市外業者の失格が多かった。また、改修工事は業者からの見積による設計が多いため積算額に差が出た可能性がある。
- 委員 京都市内の業者が参加しない理由はあるのか。
- 事務局 特に理由はない。
- 委員 京都市内から業者が集まればもっと参加者が増えたのではないか。

○事務局 改修工事は子どもが居ながらの改修になるため、新築工事よりも危険性があり、事故が起こりやすいため県外業者は敬遠しているのではないかと。新築工事には京都市内からも業者が来ている。

○委員 JVを組ませる方法を取ればまともな積算ができるのではないかと。

○事務局 JVも検討していたが、施工課からの発注の条件として単体業者での発注を希望していた。今後は今回の件を踏まえて検討する。

(3) 指名停止等の措置状況について

① 指名停止等の措置状況一覧表について

【事務局説明】

【質疑】

○委員 業法違反であることがわかったのはどのタイミングでわかったのか。

○事務局 今回処分をしたのは関東地方整備局であるためわからない。

○委員 大津市は業法通り専任の技術者を置いているのかは確認しているのか。

○事務局 大津市では入札案件ごとに直接雇用の確認等は実施している。

○委員 専任技術者が兼任しているケースはあるのか。

○事務局 契約時にコリンズにて兼任している工事がないかどうかは確認している。